

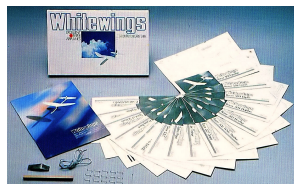


大空に舞う

HM

■ 大空への夢

天高くアウトドアの季節がやってきました。本棚の片隅に眠っていた White wings の箱をふと取り出してみました。15 種類の航空機をモデルにしたペーパーグライダーのセットです。3機ほど作り、しばらくそのままになっていました。



模型飛行機作りは子供のころから時間を忘れるほど熱中したものです。小学生の時、毎年9月20日の航空記念日（1992年にこの日は「空の日」に改称されている）に開催されていた飛行機大会で優勝したこともあり、密かな自慢です。自分が作った飛行機を初めて飛ばす時のワクワクした気持ちは今でも忘れません。あの気持ちになって再び飛ばしてみようと思い立ちました。

ケント紙に印刷された主翼や胴体をカッターナイフで慎重に切り抜いていく、まさに集中力との勝負。手元が狂えば飛ばすどころかかき行きのになってしまう。セメダインで貼り合わせ、真っ白な機体が完成しました。手に持って高く掲げ、ブーンと言いながら走り回ったあのころを彷彿、いくつになっても至福の瞬間です。



2機完成したので、近くの公園に行き、試験飛行をしてみました。主翼のねじれや尾翼の傾きを調整しながら何度もトライ、しだいに安定して飛行するようになりました。ゴムのカタパルトを使って飛ばします。うまく風に乗るとさらに上昇し、秋の空をどこまでも飛んで行ってしまいそうです。

公園で飛ばしていると散歩中の家族が足を止めて見ていました。興味津々の子供さんに1機プレゼントしたら、目をキラキラ輝かせて大喜び。やはり模型飛行機の楽しさは世代を超えて共有できるものだな、と実感しました。

あと10種類ほど残っており、次はどれを作ろうか、大空への夢はまだまだ広がりそうです。

今も胸に残っているあのワクワクした気持ち、生涯の宝として大切にしたいですね。【宮田宏美】



第30回全日本紙飛行機選手権決勝大会が今年は北海道で開催されました。全国各地の予選を勝ち抜いた大人も子供も年寄りも集まりました。表彰台上った人たちの表情を見てください。子供たちは勿論、歳はとっても大空への夢を持続しているようです。 <https://kamihikouki.fun/link041.html>

■ この夏を振り返って

今年の夏がようやく終わったかのようにですが、猛暑日の連続でした。先月号にも記していますが、伊勢崎で41.8℃の日本最高気温を記録しました。

▶ 気象庁は暑い日を気温により右のように呼び分けています。今年は40℃以上を観測する日が増え、新たにそのような暑い日

25℃以上	夏日
30℃以上	真夏日
35℃以上	猛暑日
40℃以上	???

の呼び方を検討することになりました。候補には「酷暑日」という名が挙がっているようですが、来年以降この名で呼ばれる日が何回も登場するのかと思うと「ゾーっ」としてしまいます。暑い中「ゾーっ」とできるのは良いことかもしれませんが…。

▶ 今年は梅雨明けが早く、ダムが干上がって作物への影響が心配されました。特に稲が育たず、備蓄米まで放出してしまったコメが十分に収穫できるのか、そしてコメの価格がさらに高くなってしまわないか等々心配は広がりました。すでに新米が出回っていますが、刈り取ったあとの田んぼを見ると、暖かい日が続くため、またコメが収穫できるのではないかと思えるほど稲が伸び始めています。

稲の生命力には感心します。

▶ 梅雨の短さに反して各地で大雨、集中豪雨、更には竜巻、強風に見舞われました。海面温度が上昇し水蒸気がたつぷりと空に昇って雲に発達、それが雨となって一気に地上に降り注がれました。

ゾンビ梅雨と呼ばれた梅雨の戻りのようなこともありましたが、四日市の地下駐車場で数百台の車が水没してしまったのは記憶に新しいところです。

▶ 人が熊に襲われる被害が各地でありました。従来、熊は人を恐れて人前には現れないといわれてきましたが、今年各地で起きた被害状況からみると人を恐れぬ熊が随分と増えたようです。

山での餌不足から人里に出てごみをあさって食料を得、その知恵がついた熊が世代を重ねることで人との接触機会が増えたアーバンベアは、むしろ冬を迎えるこれからの方が要注意なのでしょう。

▶ この夏、蚊が飛び回ることはありませんでした。蚊は30℃以上の高温では活動が弱まるとのこと。

夏の風物詩、蚊取り線香はこれからが定番です。感染症を媒介する「蚊は世界で最も危険な生き物」と言われています。

熊より危険とは、なんと恐ろしいことか(蚊)。



■ 国連総会

ニューヨークの国連本部では9月22日から月末にかけて各国首脳が集まり第80回総会が開催されました。



● 石破首相も参加して演説をしています。安保理改革の必要性を訴え、パレスティナ問題に関しては「二国家解決」を支持する立場から、両者へ問題解決への取組みを促す発言がありました。

最後に国際社会に対して「分断よりも連帯、対立よりも寛容を」と結び、日本の立場を表明しましたが、テレビで見たその様子は国会における答弁よりもはるかにしっかりした態度でした。退陣表明する以前からこのような形でリーダーシップを示していればよかったのと思ったのは私だけでしょうか。



トランプ大統領は、移民問題や環境問題に対する国連の取組みを非難するがごとき発言や、国連がなしえなかった世界の7つの紛争を自身の力で解決したとトランプ節を長々とまくしたてました。現在、世界で緊張状態にあるロシア、ウクライナ戦争の停戦も果たせず、中東戦争も一方に肩をもって、パレスティナの国家承認に反対しているような立場では、自国第一主義で公平さも持たず世界のトップに立つ資格に欠けているようです。

ここでトランプ氏を批判すると、米国ABCテレビのようにこのシニアクラブ便りが発行停止処分を受けないか心配です。(そんなことないか～。)



中国の李強首相は、このような演説を受けてことさら国連の重要性と、そこで果たす自国の立場を強かにアピールしていました。米国の一極支配に対抗して中国が多国間主義の盟主になろうという気持ちが見え見えます。

※ 自民党の総裁選が10月4日に実施されます。次の首相は、山積する国際間の諸課題解決に向けて世界をリードする存在となつてほしいものです。

■ 活動報告

☆Online 会合報告(9/25)

9月の防災の日に因んだテーマで開催されました。内容はこのサイトをご覧ください。



<http://jvc-senior.com/20250925online.pdf>

■ 事務局から

☆第24回総会が今月25日に開催されます。すでに多くの方から返信ハガキが届いていますが、昨年までのような参加の返信が少なくなっています。

返信ハガキの投函期日は10月10日です。是非参加の返信を送っていただけるよう期待しています。

事務局長 田代 周